

世界的な事業拡大を続ける中、アジア太平洋地域の経営陣を拡張

～ 中国のゼネラルマネージャーに Jiadong Sun、日本のゼネラルマネージャーに長谷部 吉紀を迎え
APAC における Formlabs の成長を推進 ～

マサチューセッツ州サマービル (2020 年 5 月 26 日) : 3D プリント大手企業の **Formlabs** は本日、アジア太平洋地域 (APAC) における同社の事業拡大を続けるため、2 人の新しいリーダーをアジア太平洋経営陣に迎えることを発表しました。

それぞれ中国と日本のゼネラルマネージャーに任命された Jiadong Sun と長谷部 吉紀の両者は、Formlabs の世界的認知度を高める上で重要な役割を果たすとともに、誰もがものづくりをできるようにするという使命を推進する Formlabs の新しい市場におけるビジネス戦略をリードします。

Formlabs Chief Business Officer である Luke Winston は次のように述べています。

「Formlabs が世界的な事業拡大を続ける中、Sun と長谷部は、重要な APAC における Formlabs の展開および拡張の戦略的指針を提供します。医療などの主要な業界における付加製造のニーズが高まる中、彼らのリーダーシップによって Formlabs は 3D プリントの最先端に立ち続けることができます」

Jiadong Sun は、複数の業界で事業展開する大手技術企業において世界的セールスおよびマーケティングをリードした豊富な経験があります。これまでの職務経歴として、DJI 社で複数の役職を務め、直近ではエンタープライズソリューションのバイスプレジデントおよびマーケティング責任者として、セールスおよびマーケティング、製品開発、外部パートナーシップに関する戦略的意思決定を統括していました。

長谷部 吉紀は、多国籍企業で 20 年以上培った管理経験と、製品とサービスの両方での包括的なセールスおよび事業開発経験があります。FARO Technologies 社、Ernst & Young 社および Hewlett-Packard 社での経歴があり、サプライチェーン管理およびリーダーシップにおけるエキスパートです。

Formlabs は、日本を拠点とする企業 WHILL 社など、APAC のユーザが迅速な反復、製造のローカライズ、リードタイムおよびコストの効率的な削減を実現できるようにします。インドにおける専任チャネルマネージャーを含む、鍵となるこれらの新規採用により、Formlabs は、医療、製造およびエンジニアリング業界を革新する 3D プリントの役割において最先端に立ち続け、APAC におけるさらに力強い成長を推進します。

Formlabs について

Formlabs は、デジタル製作技術を拡張し、誰もがものづくりを行えるようにしています。米国マサチューセッツ州サマービルに本社を置き、ドイツ、日本、中国、シンガポール、ハンガリー、米国ノースカロライナ州にオフィスを持つ Formlabs は、世界中のエンジニア、デザイナー、メーカーや意思決定者が求めるプロフェッショナル向け 3D プリンタを提供しています。



Formlabs製品には、Low Force Stereolithography (LFS) ™ 3Dプリントと呼ばれる高度な光造形法 (SLA) を搭載した Form 3、Form 3B、および Form 3Lに加え、Form 2 SLA 3D プリンタ、Form Wash および Form Cure 後処理ソリューション、Fuse 1 SLS 3D プリンタ、および Form Cell 製造ソリューションなどあります。また、Formlabs は、クラス最高の3Dプリントソフトウェアを開発するとともに、一連の高性能材料を独自開発して3Dプリントの限界を押し広げ続けています。

報道関係各位からのお問合せ先：

Formlabs 株式会社 (フォームラブズ)

マーケティング部

新井原 慶一郎

karaihara@formlabs.com

080-9997-0387